ネイチャーセンター ガイド（75）

「ヒミズ小僧の喜怒哀楽　第3話」

「喜」子どもが川に流されています。大変なことなのかもしれません。しかしこれはひとつの経験です。このひとコマは、自分の意思で川に流されに行っているのです。こどもの表情を良く見てください。楽しそうです。いや、楽しいのです。

川を危険な場所として、近づけないのではなく、川へ行き危険な場所とそうでない場所を身をもって伝えていくことが大事なのです。自分たちの力で遊ぶ場所を見つけていく子ども、その場所をうばっていく大人たち、なにか矛盾しています。遊びから学ぶことは無限にあります。その時期は限られているのです。この子は昨年、私たちと一緒に川へ流されに行きました。

でもこんな表情はしていませんでした。

「怒」これは都留市内を流れる川のひとコマです。何が写っているかわかりますか？じっと見つめてみてください。近所の川を思い浮かべてみてください。

これが都留の川の姿です。「きたない」です。「くさい」です。伝わりますか？この思い、ジーっと見てください。魚のお腹が見えています。あれ？

「愛」「こんなに汚すと、おかあさんに怒られるー」といっていた子どもたちが、ある時間を境にこんな表情を見せてくれていた。服を汚すことに、手や顔を汚すことにどれだけの抵抗を感じているのだろうか？

汚せば洗えばいいじゃないか？この考えがだめだろうか？いや、ちがう。土の感触、臭いを体感してほしい、感性を磨いてほしい、原点は自然の中にある。森の中にある。子どもたちの中にたくさんの感性が眠っている。そして、いまここに呼び起こすすばらしき感性を・・・

「楽」川での1日、4時間川で遊んでいた。子どもたちは川を見るなり、石ころを拾って、水切りをはじめた。「4回！」「おれ、7回」「わたし、やったことない」いろんな声が飛び交っていた。投げ方を研究したり、わからない人に教えたりいろんな表情を水切りの場面から見ることができた。本当に楽しい1日だった。

素直によろこべた。

☆湯原真の放浪日記　第六回　「宝の山的イベント」

どーも！そろそろ短パンの季節到来なんだけんども、スネ毛の処理をするつもりは毛頭ない湯原ス。突然で申し訳ないんスけんども、皆様はどのように余暇を満喫していますか？買い物、読書、ビデオ鑑賞・・・

どれもステキな時間の過ごし方です。なんつって思いながらもオレは「宝の山のイベントを大々的に知らせたい」という方向へもっていっちゃうんです。

宝の山では、日々ステキに余暇を過ごすためのお手伝いができればイイなぁ～と思いながら様々なイベントを企画し、開催しております。参加待ってます。

連絡・問合先　☎(45)6222
宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前９時から午後４時まで
休 館 日：月曜日、祝祭日の翌日

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部（大月保健所）

ご案内『看護の日』～看護の心をみんなの心に～

五月十二日は『看護の日』

五月九日～十五日は『看護週間』です。これは、近代看護の創始者であるナイチンゲールの生誕を記念して制定されています。この機会を通じて、『看護の心』の普及啓発を行い、看護についての関心、理解を呼びかける目的に『フェスタ看護』と銘打って様々なイベントが開催されます。

第二十六回山梨県看護大会
五月十三日(木)午後二時～
ベルクラシック甲府

いきいき看護文化展
五月九日(日)～十五日(土)
ＪＲ甲府駅南北通路

看護の心普及街頭キャンペーン
五月十二日(水)
ＪＲ大月駅前・上野原高校前
富士急行赤坂駅前他

一日看護師
六月～七月の期間、管内高校生を対象に一日看護体験

問合先　健康福祉部健康支援課
☎(22)７８２７

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

覚せい剤などの薬物を、好奇心や一回だけならと軽い気持ちで使うと、薬物依存が生じ、習慣性という恐ろしい悪循環が形成され、非行や犯罪と結びつき、身体的障害、精神的障害の発生へつながっていきます。

このような薬物の乱用を防止するためには一人ひとりが正しい知識を身につけ、家族の話し合いや、学校、地域の薬物乱用防止活動を通じて、私たちの身近な地域社会から薬物乱用を許さない社会環境をつくっていく必要があります。

薬物乱用は一回でも「ダメ。ゼッタイ。」の地域社会を目指し、六月二十六日(土)に「ダメ。ゼッタイ。」ヤング街頭キャンペーンが開催されます。「ダメ。ゼッタイ。」というキャッチフレーズのもとに、国連主導で全世界の国々が一丸となって薬物乱用撲滅運動に取り組んでおり、その一環として行われるものです。「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止普及運動を市町村、学校関係などの協力を得て推進しています。多数の方々の参加をお願いします。